

授業改善のポイント 第5学年

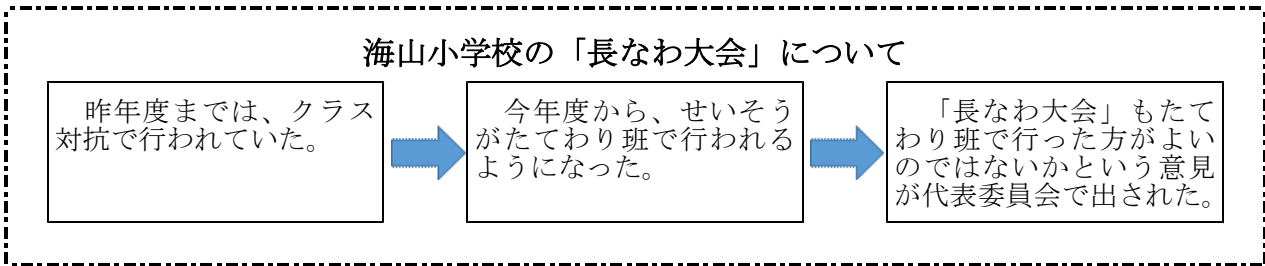
複数の資料を関係付けて読み取る力を付ける

ねらいに応じて、資料から必要な情報を取り出し、関係付ける

まず、問題文をよく読んで、どんな場面設定かをしっかりとらえさせます。
次に、【話合いの様子】で、意見の根拠になっているのはどの資料なのかをとらえます。キーワードとなる言葉や数字を取り出し、整理させていくことが大切です。



場面設定をとらえよう



意見の根拠になっている言葉や数字はどの資料にあるのかとらえよう

岩木さん

見たり、学校全体の活動すること。学年が違っても、高学年になれば、お楽しみ会など、たてわり班でやるべきです。クラス

石田さん

なこわ大会のうに、変えてしまっただけで、六年生のアンケート結果①を見れば、去年度の結果から、最後の長

資料3 アンケート結果②

クラス対抗に賛成の理由	たてわり班対抗に賛成の理由
<ul style="list-style-type: none"> ○ クラスの団結力が高まるから。 ○ 昨年度の記録もこえたいから。 ○ 高学年のじょうずなとび方が見たいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に関係なく、団結力が高まるから。 ○ 下の学年にとび方も教えられるから。 ○ 高学年としての自覚が高まるから。
クラス対抗の問題点	たてわり班対抗の問題点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月のドッジボール大会もクラス対抗なので、クラス対抗ばかりになってしまう。 ○ 低学年と中・高学年が分かれてやっているため、全校でのまとまりがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 練習時間がとりにくい。 ○ 低学年に8の字とびはむずかしい。

資料2 アンケート結果①

項目	クラス対抗に賛成 (人)	たてわり班対抗に賛成 (人)
3年生 (79人)	34	45
4年生 (77人)	38	39
5年生 (78人)	27	51
6年生 (75人)	59	16
合計	158	151

話し手の意図を正しくとらえる力を付ける

大切な文や言葉に線を引いたり、メモしたりする

【話し合い】の記録文を読むときには、立場や考えをはっきりさせている文や言葉に注目させます。その際、大切な文や言葉に線を引くなどチェックをしておく、全文を読み終わったあと、整理しやすくなります。



【話し合い】の様子では、説得力のある意見の述べ方をしていることが分かります。自分が話すときや書くとき生かせるように、文章を読みながら確認していくことが大切です。

【話し合いの様子】

石田さん	わたしは <u>クラス対抗に賛成</u> です。アンケート結果①を見ると、 <u>六年生ではクラス対抗に賛成の人が多</u> いからです。これは、 <u>昨年度の結果から次の年こそがんばろう</u> という目標をもっていたのだと思います。今年で最後の長なわ大会なのに、 <u>変えてしまったら六年生がかわい</u> そうです。(中略)
小林さん	ぼくは <u>クラス対抗に賛成</u> です。アンケート結果②にもありますが、 <u>たてわり班よりもクラスの方が、練習時間がとりやすい</u> と思うからです。高学年は <u>休み時間に委員会の仕事</u> などがあるので、 <u>全学年が集まって練習する時間がとりにくい</u> と思います。(中略)
田中さん	<u>たてわり班対抗には練習する時間がとりにくい</u> という問題点があります。しかし、 <u>たてわり班はせいそう時間に毎日</u> 会っているのだから、 <u>みんなで相談して練習時間を決めたらよい</u> と思います。
岩木さん	ぼくは <u>たてわり班対抗に賛成</u> です。委員会としては、 <u>学校全体のことを見た方がよい</u> のではないかと思います。つまり、 <u>たてわり班で活動</u> すると学年が違ってもなかなかなれるならば、 <u>たてわり班でやるべき</u> です。クラスの <u>団結力を高める</u> ならば、 <u>お楽しみ会などで団結を強めればよい</u> と思います。
石田さん	お楽しみ会などで団結を強めると言いましたが、 <u>他のクラスと競う</u> ことで <u>団結力が高まって</u> 、毎年長なわ大会は <u>もりあがっていた</u> のでは ありませんか。
岩木さん	他のクラスと競うならば、 <u>十月に全校で行っているドッジボール大会</u> があります。アンケート結果②にもありますが、 <u>たてわり班での活動はあまりない</u> ので、 <u>長なわ大会はたてわり班対抗がよい</u> と思います。

資料を用いて、自分の意見の根拠を述べています。予想したことを話すことで説得力が増します。

クラス対抗のよさを述べたあと、たてわり班対抗の問題点を指摘しています。

反論を想定した上で、その解決策を述べています。「論じ返し」によって、説得しています。

たてわり班対抗のよさは、同時にクラス対抗の問題点でもあります。

今までの経験から、クラス対抗のよさを言うことで、説得力が増します。

代替りの案を言うことで、クラス対抗にする必要がないことを説得しています。そして、資料を根拠にたてわり班対抗案をすすめています。

【話し合い】では、資料を用いてそこから考えられる予想を話す、今までの経験を話す、代案を言う、相手の問題点を指摘する、反論を想定した上で解決策を述べて「論じ返し」をするなど、相手を説得するためにいろいろな工夫をしていますね。



説得力のある文章を書く力を付ける

① 資料から得た情報を整理し、自分の立場を決める

自分の立場を決める際に、それぞれの案のよさや問題点を整理しておく、考えやすくなります。さらに、問題点に対する自分の考えや解決方法を考えておくと、自分の意見の根拠として取り上げることができ、説得力をもたせることに役立ちます。

	クラス対抗案	たてわり班対抗案
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の結果と比べることができる。 ○ 練習時間がとりやすい。 ○ 他のクラスと競うことで、団結力が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に関係なく、なかよくなれる。 ○ 下の学年にとび方を教えられる。 ○ 高学年としての自覚が高まる。
問題点	<ul style="list-style-type: none"> × 低学年と中・高学年が分かれてやっているの、全校でまとまることできない。 	<ul style="list-style-type: none"> × 全学年が集まって練習する時間がとりにくい。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ◇ たてわり班は、せいそう時間に毎日会っているので、せいそうで会うときに、おたがいにあいさつをしたり、高学年は低学年の世話をしたりすれば、全校がまとまることできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 6年生を中心に、委員会の時間などに「集まる日は何日の昼休み」というように決めてしまい、その日は他に何の活動も入れないようにしたら、かえって練習時間をきちんととることができる。

たしかに、たてわり班は学年に関係なくみんながなかよくなると思う。



でも練習時間が取りにくいし……。

練習時間を全校で決めてしまえば、かえってきちんと練習時間がとれるよね。



私は「たてわり班対抗案」で書こう！！

② 自分の立場を述べ、理由も示す

自分の意見が明確になるように、段落の役割を考えて文章を構成します。今回は、第一段落で自分の立場を述べ、第二段落で理由を述べる型を示しました。

文章を構成する際は、下にあるような「組み立て表」を活用して練習しましょう。「始め—中—終わり」の三部構成などにし、その中に伝えたい内容を入れていきます。



書くことに苦手意識のある児童に、各段落の書き出しの型を示すと、抵抗感が和らぐでしょう。は、各段落の書き出しの型を示すと、抵抗感が和らぐでしょう。は、各段落の書き出しの型を示すと、抵抗感が和らぐでしょう。は、各段落の書き出しの型を示すと、抵抗感が和らぐでしょう。

終わり 4だん落	中		始め 1だん落
	3だん落	2だん落	
くと思えます。	くと思えます。	理由は、くだからです。	はたてわり班対抗案（また
対抗案）を実行すれば、	抗案）にはくという問題	（自分の体験や予想を入	に、クラス対抗案（また
抗案（またはたてわり班	点があります。しかし、	れて書く。）	のねらいを達成するため
このように、クラス対	たしかに、クラス対抗		わたしは、長なわ大会

【組み立て表】

③自分の体験や予想、解決策を入れて説得力を増す

自分の選んだ理由に、資料や文章から考えたよさだけでなく、自分の体験や予想を入れると、より伝わりやすくなります。
また、「たしかに～という問題点はあります。しかし、～だと思います。」などの論じ返しの話型を使って、支持する案の問題点と解決策を示すことで、より説得力のある意見文にすることができます。



体験や予想を表現する練習に日頃から取り組みましょう。

ねらいとつなげています。

問題点に対する解決策を述べています。

自分の体験を加えています。

このように、クラス対抗案を実行すれば、クラスのみんなが助け合い、団結力が強まるだけでなく、長なわとびもじょうずになると思います。

たしかにクラス対抗にすると、全校でまとめることができないという問題点があります。しかし、たてわり班とはせいそう活動で毎日会っているので、せいそう時間にあいさつをしたり、低学年の世話をしたりすることを進んで行えばよいと思います。

わたしは、長なわ大会のねらいを達成するために、クラス対抗案に賛成します。
理由は、クラス対抗でやるとクラスの団結力が高まると思うからです。去年の長なわ大会では、とべる人がとべない人に、いっしょうけんめいとび方を教えていました。とべるようになった人は、とてもうれしそうでした。その結果、記録がどんどんのびて、学年で一位をとることができました。力を合わせれば、よい結果が出ると思えました。

ねらいとつなげています。

問題点に対する解決策を述べています。

自分の体験から予想しています。

このように、たてわり班対抗案を実行すれば、学年が違ってもみんながなかよくなり、団結して長なわとびをすることができると思います。

たしかに、たてわり班には練習時間がないという問題点があります。しかし、委員会では何日の昼休みというように決めてしまい、その日は他に何の活動も入れないというようにしたら、かえって練習時間がきちんととれると思います。

ぼくは、長なわ大会のねらいを達成するために、たてわり班対抗案に賛成します。
理由は、たてわり班対抗でやると学年に関係なくなかよくなれると思うからです。多くの学校ではたてわり班でせいそうをしています。どの学年もたてわり班のみんなの名前を覚え、ろうかななどで会うとあいさつをするようになりました。たてわり班で活動することで全校のみんなが知り合い、なかよくなれると思います。